

フィンドレー大学長期留学レポート 古俣大地

こんにちは！現在、アメリカのオハイオ州にあるフィンドレー大学に長期留学をしている海洋生物資源学部 2 年 古俣 大地（こまた だいち）です。今回は、留学の私生活、学習、楽しみ、みんなへのメッセージの4つに分けて話させていただきます。正直なところこの4つには収まりきれないほど話したいことはたくさんありますが、自分の留学 3 ヶ月間を振り返る機会として最も皆さんに伝えたいことを書きます。

普段の生活

私は学校の敷地内にあるシェアハウスに住んでいます。学校までは徒歩で 3 分ほど。立地はかなり良いです。私の他にはアメリカ人の Evan 君と Drew 君のハウスメイト 2 人が住んでいます。



Evan(左)とDrew(右)とのショット

私の朝は 8 時半から始まります。少し遅めですが、授業自体は 11 時から始まるのでそれまでには十分な時間があります。食事は主に近くのスーパーで買って来たものを料理して食べています。スーパーには日本食も置いてあり、お米やラーメン(1 パック 20 円程度)も購入できます。アメリカ食といえば毎日ピザとハンバーガーが連想されますが、決してそんなことは無く、日本での一人暮らしと対して違いはありません。食事が終わると身支度をしてビジネスビルディングに向かいます。(下写真)この施設は全体的なオープンな校舎で食事でもでき、自分の好きな場所に座ってリラックスしながら友達と予習をしています。11 時から待ちに待った授業です！後の学習でも話しますが、どの授業も興味深く毎日の授業が待ち遠しくてたまりません。英語の授業は大体午後の 3 時には終わります。その後は曜日によって様々な授業があり、それらは任意で取ることができます。私は合唱の授業や他国の人を対象とした **Japanese experience**、英語学習者対象の **Culture connection** を取っています。これらの授業が終わるのは大体 5 時ごろでその後は家に帰り、夜ご飯を食べて、学校の **gym** に向かいます。これが 1 つの自慢なのですが、なんといっても大学の **gym** は大きいです。自分のしたいトレーニングは大体できますし、ロッククライムやビリヤード、プールなども楽しめます。週に 4 日は **gym** に通い、汗を流しています。日本にいた時よりも健康体になっている気がします！運動後は家に帰りシャワーを浴びて、軽食を取ります。その後はビジネスビルディングに戻って夜の 11 時まで復習や明日の予習をします。その後は家で 12 時までハウスメイトと映画を観て、深夜 1 時前には寝ます。



フィンドレー大学長期留学レポート 古俣大地

主な1日のスケジュール

時刻	8:30	10:00	11:00~ 17:00	19:00	20:00	20:30	21:00~ 23:00	24:00 頃
	起床 朝食	予習と復習	授業	夕食	ジム	シャワー	自習	就寝



合唱の授業でコンサートに出ました。隣の教授は韓国人の先生で、毎週ボイストレーニングをしてくださいました。

学習

学習について詳しく書きます。特徴的な授業の進み方としては **Discussion** がほとんどです。週末にあったことを主題としていきなり **Discussion** が始まります。授業中は先生たちから授業の合間で質問を投げかけられたり、自分の意見を聞かれます。そのため常に先生の話す内容について自分自身の考えを持ちながら授業を受けます。(聞き流す、メモを取るだけではダメ。)そのため、授業の雰囲気はとても活発で、先生と会話をしながら共に授業を作っていく感覚です。話をしっかり聞かないと会話が成り立たないように授業でも常に相手の考えに興味を持ち、自分の考えも共有しなければいけません。初めはとても緊張していました。簡単な **Discussion** でも準備を何もしていないので、相手の話を聞くだけで終わる事もありました。ここで1つ気づいたのは、会話において準備とは何なのかということです。”**Always be prepared.**”が私の1つのモットーであり、英語が第二言語である私には日常会話の話題もしっかり準備していました。準備といっても全ての話題の準備をしているわけではなく、自己紹介などから自分の好きな事、休日の過ごし方、自分の癖そして日本文化の特徴などの自分に関連していることを準備しています。それらの話題を話せるようになると、初対面の人との会話も弾み、自分の会話力も着実に伸びていくことが実感できています。

これからはもう少し深い内容の話題を取り上げて、アメリカの文化や歴史などを勉強していこうと考えています。また、授業のスタイルにも初めは違和感を感じていましたが、自分の言いたいことを何でも、いつでも言える環境だ、と思うと少しずつ楽しめるようになりました。慣れるのに時間がかかりましたが、その環境に溶け込み、みんなの真似をしながら少しずつ自分の個性を出していく事も大事であるとわかりました。今後の目標として、自分の考えている事をよりわかりやすくそして正確に伝えることを頑張りたいと思います。

フィンドレー大学長期留学レポート 古俣大地

リフレッシュの仕方

フィンドレー大学での楽しみは多すぎてここに書ききれませんが、少しでも日本との違いについて **Nuance** をつかんでもらえればと思います。私のリフレッシュの時間の過ごし方は、学校のイベントに参加して無料のお菓子とご飯を摘みながら友達とお互いの国の話をする事です。その時に仲良くなった友達と **SNS** を交換し、無料の **T-shirt** をもらって帰ります。もらったシャツだけでもう 10 枚ほどになるくらい頻繁に **shirt** が配られ、ご飯もそこで済ませられるため食費も浮きます。

さらに友達もできるという一石三鳥の楽しみ方です。そこで知り合った友達と後日、バスケやビリヤードをするもよし、バーに行くもよし(キャンパス内での飲酒は絶対ダメです。そしてお酒はオハイオ州では 21 歳からです！)、映画を観に行くのもとても楽しいです。イベントに参加するのが唯一の友達の輪を広げられる場なので、何かあればどんなイベントにも参加しています。また、バスケやバレーボール、サッカー、アメフトと言ったスポーツを学内で無料観戦することもできます。大学同士の試合にもかかわらず、迫力は満点です。アメフトはルールがよくわからなくても、いつのまにか隣の学生とハイタッチをする程夢中になってしまいます。体育系のイベントもあり、**Kolor run** と言われるキャンパス内でカラーパウダーを振りかけられながらマラソンをするイベントに参加しました。走り始める前にオリジナルなシャツを着てカラーパウダーで色をつけ合い、開始と同時に全員が粉を振り上げます。キャンパス内の各コーナーで粉を振りかけられ一瞬前が見えなくなりました。走り始めて 5 分ごろで、上位に入ると景品が貰えると聞き、本気で走り出しました。そうすると最後のコーナーで先頭を抜かし、何と 1 位でゴールしてしまいました。ハイタッチと大量のカラーパウダーで迎えられ、景品として地元で有名なコーヒーショップ(**George's house**)のマグカップと商品券を貰いました。週 4 日 **gym** に通っていた甲斐がありました。

このようにフィンドレー大学にはリフレッシュの方法は沢山あります。留学をしているとつい自分を追い詰めてくなってしまうがちですが、なによりもその環境を楽しむことが 1 番の勉強法だと信じています。心も体も健やかに過ごす事が 1 番重要です。



Kolor Run の表彰式です

-MEMO-

フィンドレー大学でかかる費用

- ・ハウス代(学生寮)約 300,000 円/学期
- ・生活費 約 15,000 円
- ・登録費用等 約 100,000 円

その他、航空券、保険料、ビザ申請費用

フィンドレー大学長期留学レポート 古俣大地

留学を考えている人へ

留学を考えている人へ一番自分の伝えたい事を書きます。

留学はみんなの人生をあらゆる角度から刺激し、そして自分の価値観や常識をも変えてくれます。必ずみんなの人生の糧になります。勿論、何もかもが楽しい、嬉しい事ではありません。楽しい授業のベースとなっているのは緊張と忙しさです。楽しい有意義なイベントに参加するには、失敗を恐れない自分の勇気を持つことがスタートです。何をするにしても、自分の殻を破らなければなりません。しかし、何も心配することはありません。留学での恥ずかしい経験や失敗が最も価値のあるものであり、確実に自分を強くしてくれます。私もここに来て何度も恥ずかしい経験をしています。しかし、不思議と少しずつ恥をかくのが怖くなり、失敗した時は少し嬉しい気持ちになります。失敗する事よりも何もなかった自分が恥ずかしくなるからです。「自分の気づかなかった欠点が1つ見つかった！恥をかって良かった！！」と失敗をくれた自分に感謝しています。留学を決意する事自体がかなり勇気がある事だと思います。始めの決意が一番重要だからです。留学前に考えて欲しいこととして次の事をあげます。

- 自分の目標を明確に決めること(どんな能力または経験値を得たいか)
- 留学で得られた事を帰国後どのように活かすかということ
- 自分の行きたい国、学校について下調べしておく事
- 自分の留学には必ず誰かの助けがあると言う事

以上がみんなに考えて欲しい事です。中でも最後の1つは1番大事にして欲しいです。みんなのやりたい事、夢、希望などにはどうしても他の人の助けが必要です。知り合いが誰もいない環境で1人になるとよく感じることは、家族や友人そして自分を育ててくれた全ての人の温もりです。この人たちがいなければ今の自分はいないし、これからの自分もないだろうと感じます。また、みんなの家族はみんなの思う以上にみんなの事を大事にそして心配してくれています。普段の生活の中ではなかなか実感しにくい事ですが、いつでも感謝の気持ちを大切にしてください。

現在、留学をしたいという人の中には、まだ決断を出せずに不安と期待で悩んでいる人がいるかと思います。以下にみんなが悩んでいると思われる事とまた私自身が留学前に知っておきたかった事と、それらに対する私の個人的な回答を書きます。なにかの参考になれば幸いです。

1. 本当に英語力は伸びる？

→話すことも聞くことも慣れるとある程度はできるようになります。読み書きは授業を受けながらトレーニングしていく事が大事です。

2. 食べ物が心配。近くにスーパーマーケットとかあるの？

→あります！Walmart と言うスーパーで歩いて20分のところにあります。米も置いていますし、多少日本食も置いています。

3. お金、費用が心配。どれだけかかるんだろう。

フィンドレー大学長期留学レポート 古俣大地

→私自身まだ留学中ですが、交換留学のため、私費留学よりはかなり低額です。おおよそ 200 万円くらいをみていた方がいいと思います。

4. 学校に国際交流センターのようなところはあるの？

→あります！名前は Buford center といい、そこには日本語がペラペラな Chris 先生がいます！日本人の留学生にはかなり心強い人がいますから、何が困った事があれば気軽に立ち寄れます！！

5. 奨学金はどのくらいもらえるの？またそれは返さなきゃいけない？

→グローバル人材基金から月 5 万円の利子なしの奨学金が借りられます。留学後に 30 万円の支給があります。詳しくは国際・留学支援課へ！

6. 気候や温度はどうだろう？日本とどのくらい違うの？

→日本よりも夏は湿気がなく、かなり少しやすいです。秋から冬になるとかなり冷えます。マイナス 20 度の時もあるそうです！冬着を多めに持ってくる事をお勧めします！

7. 日本との時差はどのくらい？

→13 時間(サマータイム時)から 14 時間です。

8. クラスメイトはどんな人がいる？

→サウジアラビア、中国、チェコ、イランからの留学生がいます。年齢も様々で大人の学生さんと一緒に授業を受けることもあります。

9. 先生は怖い？

→全く怖くありません！どの先生もとても親切でみんなのやる気に応えてくれます。

10. 交通手段はどうなっているの？

→殆どが車です。電車は近くになく、空港からも車の送迎が必要です。学校で自転車ショップ(今私がバイトしているところですよ笑)で自転車借りれるので、近くのスーパーには自転車で十分です。

11. 日本人は多い？

→合計で学校には日本人は 20 人近くの日本人がいます。大半が私のような交換留学生で、一般の学生が少数です。日本人の教授も在籍しています。

12. 保健室とか薬局とかはあるの？

→キャンパス内に診察と薬を無料で提供してくれるところがあります。大抵の怪我、症状はそこでなんとかなります。

13. アメリカで就活はできる？

→毎年 11 月の初めにボストンで Boston career forum というイベントがあります。アメリカに在住または留学中の人を対象としたもので、日本のグローバル企業が 250 社ほど集まります。私も参加しましたが(詳細

フィンドレー大学長期留学レポート 古俣大地

は次にレポートに載せるつもりです)、学力だけでなく、高い目標と能力を兼ね備えた猛者が集まります。その日に内定が出る企業もあり、参加するだけでも日本では経験出来ない就活が体験できます。

簡単ですが以上が留学に関する質問とそれに対する私なりの回答です。まだ知りたい事がある人もいらっしゃると思うので、下に私のメールアドレスを載せて起きます。どんなことでもいいので何か気になる事があればメールを送ってください！私のわかる事であればなんでもお答えします！！

最後になりますが、ここまで辛抱強く読み切っていただきありがとうございます。私の経験が、皆さんの何かのきっかけになる事を心から願っております。

古俣大地 Email: s1841020@g.fpu.ac.jp



日本人の留学生でハロウィンで街のパレードの参加してお菓子を配りました。カオナシはまだアメリカには浸透していないようでした(笑) 右の写真は自分でメンテナンスした自転車で五大湖までいきました。総移動距離は182kmで、自転車で17時間かかりました。人生で最も濃い時間だったと思います。

フィンドレー大学長期留学レポート 古俣大地



Thank you for reading! Daichi